

## 8-3-6 報酬のあり方検討WG

### 1. WGの概要

#### (1) 活動目的

報酬のあり方検討WGは、建設コンサルタント業界の報酬・積算体系の問題点・課題を整理するとともに、新たな報酬・積算のあり方について検討することを目的としている。

また、検討成果は本省意見交換会や未来塾等を通じて発注者へ情報提供し、必要に応じて改善提案を行うこととしている。

令和3年度は、マネジメントシステム委員会との意見交換を行うとともに、新たな報酬のあり方についての提言(案)を議論した。

#### (2) WGメンバーの構成

WGの構成メンバーは以下の5名である。

WG長：(株)建設技術研究所 杉本 龍志

委員：(株)建設技術研究所 清水 隆史

大日本コンサルタント(株) 月野 郁也

(株)復建エンジニアリング 戸田 秀夫

日本工営(株) 吉原 信幸

### 2. 主な活動報告

#### (1) WGの開催

WGは、企画委員会の開催に合わせて、以下の日程で計10回行った。

- ① 令和3年5月26日
- ② 令和3年6月2日\*
- ③ 令和3年6月18日
- ④ 令和3年7月15日
- ⑤ 令和3年9月21日
- ⑥ 令和3年10月22日
- ⑦ 令和3年11月24日
- ⑧ 令和3年12月20日
- ⑨ 令和4年2月18日
- ⑩ 令和4年4月12日

\*6月2日は、マネジメントシステム委員会との意見交換会を実施。

#### (2) 検討内容

以下について検討を行った。

- ① マネジメントシステム委員会への聞き取り内容
- ② 報酬形態別の報酬の方式について
- ③ 成果連動型成功報酬方式について
- ④ 新たな報酬のあり方についての提言案

### 3. 検討内容の概要

検討した内容の概要を以下に示す。

- ① マネジメントシステム委員会へ以下を中心に意見交換を行った。
  - ・事業促進PPPの現状と課題について
  - ・積算体系が改善された次の段階として、高度なマネジメント能力を有する技術者へのインセンティブの必要性や報酬体系について
- ② 報酬形態別の報酬の方式として、以下について整理した。
  - ・ECI方式
  - ・PPP/PFI手法
- ③ 成果連動型成功報酬方式として、以下について整理した。
  - ・アベイラビリティ・ペイメント(A/P)方式
  - ・ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)
  - ・増加税込財源措置  
(Tax Increment Financing:TIF)
- ④ 新たな報酬のあり方についての提言案を策定した。

これまで議論してきた現行報酬・積算体系の問題点・課題を通して、現行制度の改善による報酬のあり方として3つの提言案、新たな報酬のあり方として2つの提言案をそれぞれ議論した。

### 4. 次年度の活動について

令和3年度に検討した上記について、次年度はマネジメントシステム委員会へ、事業促進PPP業務等にたずさわる高度なマネジメント技術者の報酬のあり方についてさらに意見交換を行う。

また、提言内容をわかりやすく示し訴求力を高めるために、新たな報酬のあり方についての提言案を1~2枚程度にまとめるものとする。

(報酬のあり方検討WG WG長 杉本 龍志)